

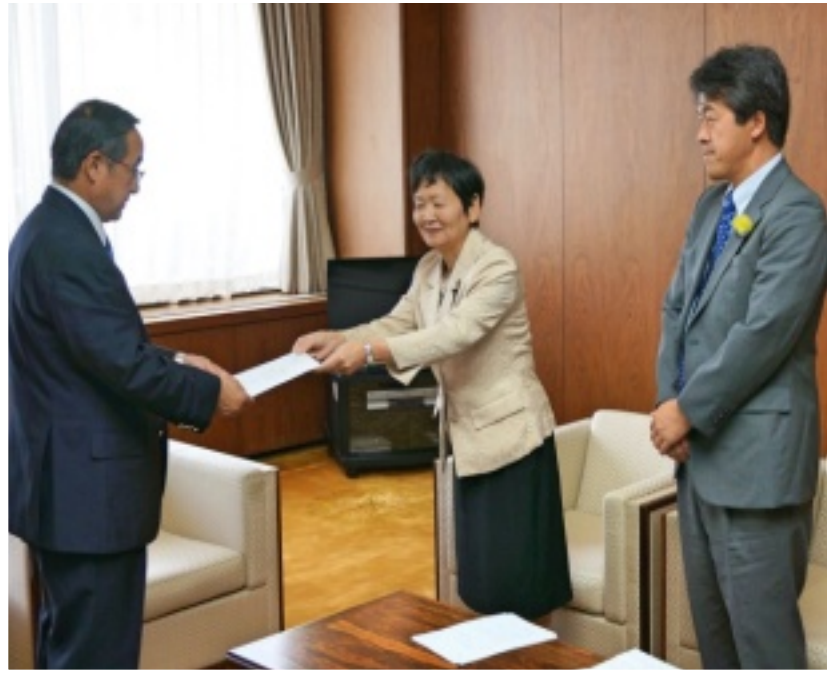
国の主権を揺るがす TPP断固反対



2015年5月31日
-2号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365



野川議長に申し入れ書を手渡す渡辺県議と関県議

所属委員会

所属委員会は、
渡辺ゆり子議員
厚生環境常任委員会
産業振興対策特別委員会
関徹議員

改選後の臨時議会が5月15日から21日まで開催され、県議会の役職や委員構成などが決定されました。

15日には議長、副議長選挙が行なわれ、議長には野川正文議員、副議長には伊藤重成議員(いずれも自民党)が選出されました。

6月22日の見込みとなって、

今年度の質問割り当ては、6月定例会に一般質問、12月定例会に予算特別委員会の質問となっています。

県議会6月定例会の開会は、6月22日の見込みとなって

日本共産党山形県議団、渡辺ゆり子・関徹両県議は、18日、改選後初議会で選出された野川正文議長に対して、議会改革に関する11項目の提案申し入れを行いました。

少数会派の意思を尊重する民主的改善が重要であることを述べ、各項目を挙げました。

現在、会派の人数によって一般質問や予算特別委員会の質問が割り当てられています。一般質問は定例会ごと希望する全議員に行なわせるよう求めました。

また、4年間100万円を限度とした海外視察(現在中止

TPP断固反対集会

5月21日、TPP断固反対山形県連絡会議(山形県JAGグループ、森林組合、医師会、商工団体連合会、生協連、農民連、民医連、県労連など21団体で構成)は、市内霞城公園で集会を開き、約1500人が参加しました。

日本共産党の渡辺ゆり子、関徹両県議も来賓として参加し、紹介されました。

集会では、JAG山形中央会の長沢豊会長が「TPPは国の主権を揺るがしかねないものだが、秘密交渉で

TPP断固反対集会

各委員会の委員外発言の保障
請願者に配慮した委員会審査、請願者の意見聴取の機会を設けること
会派協議会の内容、資料の全議員への公開
政務活動費収支報告のインターネット公開
などについてもあわせて求めました。



集会後デモに参加する渡辺議員

5月23日、実行委員会主催の「何でも相談会」に相談員の一人として参加しました。

大震災、原発事故から4年以上経過して避難者の方々の思いや実状は多様であり、問題が長期化しています。

東京電力への賠償請求、住宅や生活の課題、子どもの教育のこと、除染がなかなかすすまないことへの憤りなどなど、何より国がしっかり受け止め、対応すべきなのに支援打ち切りへの不安が大きくなっていることも感じました。

避難者への支援



相談に訪れる避難者

ゆり子の視点
日本の平和・安全とは？

安倍政権の戦争法
案に反対の音が広がっています。

政府はさかんに示さなければならぬ「日本の平和、安全のため」と言っているのか？

しかし、本当は、実際は原爆再稼働やTPP交渉受結などに向けています。戦争法案は、策や食料、エネルギー躍起となっています。

政策について少なくも将来に向かっている平和・安全は、結実できる見通しを局軍備による抑止力しよう。

進められている。国会決議を遵守することを求めている」と主催者あいさつを行い、県生協連など3団体がリレー発言をしました。吉村美栄子知事からもメッセージが寄せられました。

最後に、「TPP断固反対運動を総力を挙げて展開していく」とする集会宣言を採択しました。

集会終了後、参加者は市内をデモ行進し、私も「TPP反対」「国会決議を守れ」などとシュプレヒコールをしながら参加者とともに市内を歩きました。

に特化した「戦争でできる国づくり」に他ならないことを示しています。これは明確な憲法違反だと思えます。戦争法案は、廃案にするしかありません。反対の声、運動を大きく広げましょう。